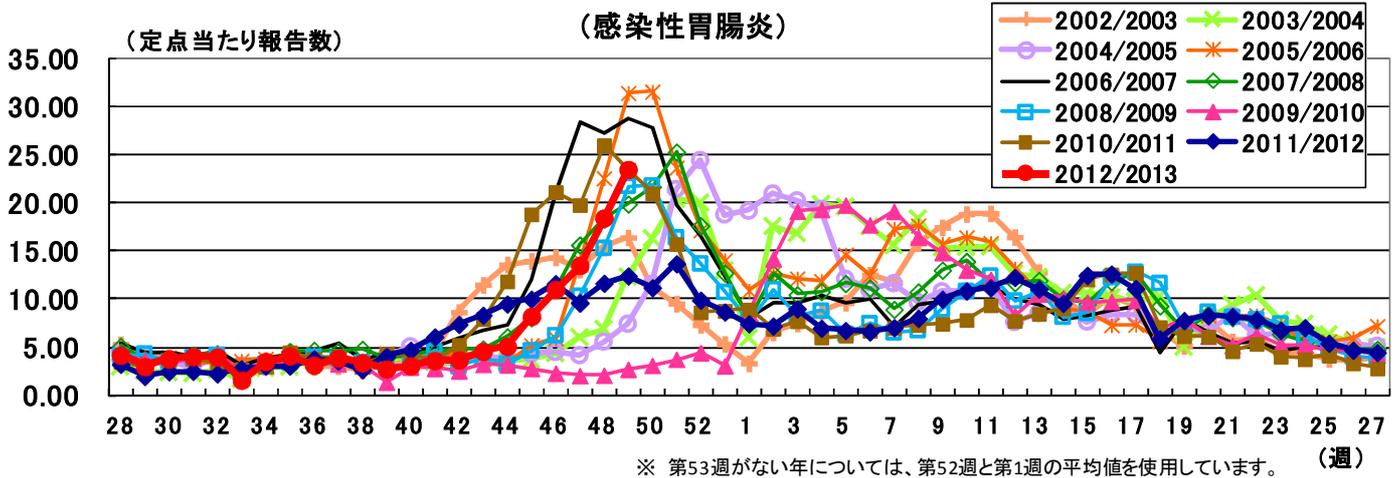


# 感染性胃腸炎の流行状況

※山口県の感染性胃腸炎の定点あたり報告数は第49週に20以上となり、警報レベルの開始基準値を上回りました。

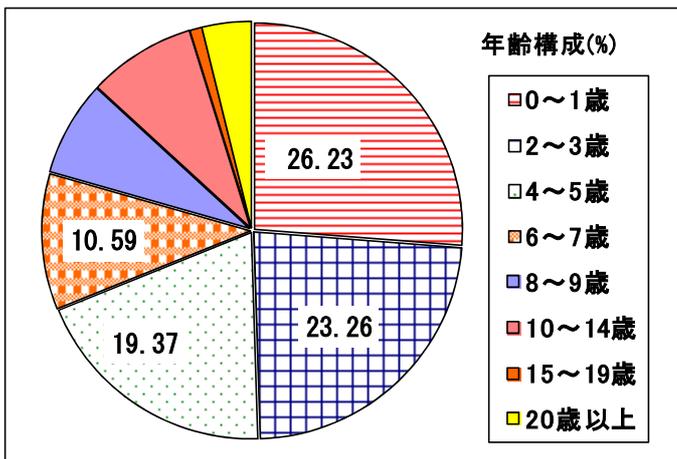
## 1. 各年の発生動向

2002(第28週)～2012年(第49週現在)までの各シーズンの発生動向を示したグラフです。第45週(11/5～11/11)以降急増し、第49週(12/3～12/9)に定点あたり報告数が23.50となりました。



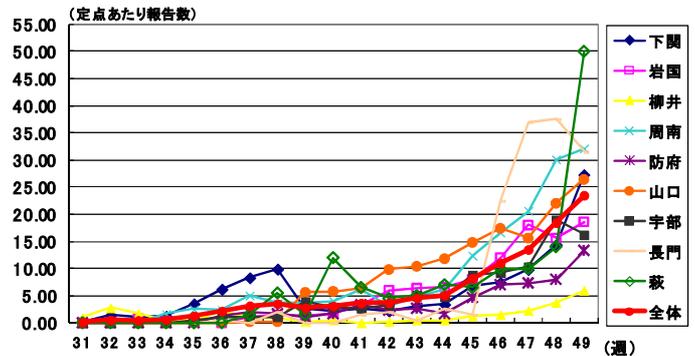
## 2. 年齢構成

下のグラフは、2012年(第49週現在)の年齢構成を示したものです。0～1歳26.23%、2～3歳23.26%、4～5歳19.37%、6～7歳10.59%の順となっています。



## 3. 地域別発生動向

下のグラフは地域別の発生動向を示したものです。第49週現在、長門、周南、山口、下関、萩が警報レベルで、県内ほぼ全域で流行がみられます。



## 4. 全国の傾向

全国的にも第42週(10/22～10/28)以降増加傾向が続いています。詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのページをご覧ください。参考URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>